

内容

- ・ 豪州のエネルギー・鉱物資源の輸出額は供給混乱で減少
- ・ 豪州クイーンズランド州炭鉱における豪雨の影響
- ・ 米石炭大手ピーボディ・エナジー社 (Peabody Energy Corp.) 新疆で大型炭鉱開発
- ・ 山西省晋城市は中国最大の炭層ガス (CMM) 開発利用基地に
- ・ インドでは 2012 年までに国全体への電力供給を行うのは不可能となる見通し
- ・ シンガレニ社のストライキがアンドラプラデシュ州の電力供給に深刻な影響 (インド)
- ・ インド初の IGCC プラントは 2013 年 9 月稼働予定
- ・ 英国 ScottishPower Consortium Project
- ・ 中国石炭 MTO/MTP 事情及びポリエチレン/ポリプロピレン需要の見通し

<2011 クリーン・コール・デー石炭利用国際会議第 20 回記念大会>

豪州のエネルギー・鉱物資源の輸出額は供給混乱で減少

2011 年第一四半期のエネルギー・鉱物資源の輸出額は、2010 年第四四半期 (前期) 対比 10% 低い 403 億 A\$ であった。

この輸出額の減少は、原料炭、一般炭、鉄鉱石、原油を含む多数の輸出品目の 2011 年第一四半期の平均輸出価格の前期比 9% 上昇がある程度、輸出数量減を相殺しているものの、輸出数量の大幅な減少に起因している。

2011 年第一四半期の酸化ウラン、石炭、亜鉛、金、鉄鉱石を含む主要エネルギー・鉱物輸出品目は前期の 70% 程度の数量しかなかった。クイーンズランド州、ニュー・サウスウェールズ州の豪雨は、原料炭、一般炭の生産に、また、西オーストラリア州の多雨が鉄鉱石の減産の原因となった為である。

以上のような数量要因により、2011 年第一四半期の原料炭輸出額は前期比 29% の 54 億 A\$、一般炭は 13% の 30 億 A\$、原油等石油製品は 12% の 26 億 A\$、銅は 15% の 19 億 A\$、鉄・鉄鋼は 27% の 2.9 億 A\$、酸化ウランは 26% の 1.9 億 A\$ と軒並みの減少となっている。

Australian Bureau of Agricultural and Resource Economics and Sciences (ABARES) Media Release 2011 年 6 月 訳 JCOAL 総務・企画調整部 柴田 邦彦

■ 豪州クイーンズランド州炭鉱における豪雨の影響

クイーンズランド州の Anna Bligh 首相によると、クイーンズランド州で豪雨の影響を受けた 54 炭鉱のうち 45 炭鉱が 80% 以上の生産能力で操業を行っているとのことである。首相は 2011 年末までに全ての炭鉱が完全復旧すると見込んでいると Dow Jones Newswire に語っている。今年の石炭生産量は昨年度より 11% 減少するとみられている。

QLD Resources Council (QRC) によると、2010 年度の州全体の生産量は計画値を 4,000 万トン下回った。「港のデータから確認した 1 億 6,300 万トンという数値は、昨年より 2,100 万トン少なく、世界金融危機の間の輸出量よりわずかに 400 万トン多いだけである。2011 年 6 月の輸出量は 1,470 万トンであり過去 6 ヶ月において最も多かったが、それでも 2010 年 6 月よりも 19% も少ない数値である。残念ながらこの数値は、炭鉱が依然 80% 操業を余儀なくされているという最

悪のケースを物語っている。次の雨季に向けてシドニー湾一杯分に相当する水を運び続けていることを考えれば驚くことではない。」と QRC の Roche 会長は語っている。炭鉱企業は貯水池、パイプライン、ポンプ、水処理設備などに多額の計画外投資を強いられている。

International Longwall News, 2011.7.25

訳 JCOAL 情報センター 富田 新二

米石炭大手ピーボディー・エナジー社(Peabody Energy Corp)新疆で大型炭鉱開発

7月14日、アメリカ石炭大手会社ピーボディーエナジー社(Peabody Energy Corp.)は中国新疆ウイグル族自治区政府と共同で大型炭鉱開発プロジェクトを立ち上げる旨を明らかにした。

「ウォールストリート・デیلیー」の報道によると、ピーボディー・エナジー社は中国新疆自治区政府共同協議を発表し、中国の増える一方のエネルギー需要を満たすために、これから年間生産量5,000万トンの大型露天炭鉱を開発する計画だ。

共同協議によると、ピーボディー・エナジー社は石炭の利用、品質改善、鉱区のリハビリ、水と土地の維持等多機能石炭産業エリアの成立と推進に取り組み、また、新疆での大型石炭貿易プラットフォーム構築に参画し、専門的な関連研修センターを建設し、新疆大学と共同事業を展開する。

アジア一般炭の価格は120USD程度で、この価格ベースで試算すると、これから開発する露天炭鉱は数十億円の売上高が実現する見込みである。

今年1月、同社は同じく新疆で年間生産量2,000万トンの炭鉱を中国と共同で開発する声明を発表した。新疆で建設中の発電所と天然ガス施設への石炭供給を目指している。

<新疆日報>7月15日付記事 訳 JCOAL 国際部 尹 文礼

■山西省晋城市は中国最大の炭層ガス(CBM)開発利用基地に

山西省晋城市は炭層ガスの利用において、幅広く開発や利用を実現させ、中国最大の炭層ガス開発利用基地となっている。現在、晋城市の炭層ガス回収率は3,770か所あり、年間回収量は30億m³に昇った。炭層ガス液化プロジェクト4個を立ち上げ、1日液化量は80万余m³である。中国最大の炭層ガス開発会社として、晋煤集団は今年第一4半期の炭層ガスの1日回収量は530万m³を上回っていた。

中国では、主要なガス含有盆地は42か所あり、地下2,000mより浅い炭層ガスの資源量は36.8兆m³で、ロシアとカナダに次ぎ、世界3番目の炭層ガス資源国。炭層ガスは濃度により、用途も分かれているが、濃度が15~30%の炭層ガスは発電に利用するが、また、30%以上の場合は民用や工業の生産に利用する。山西省は浅炭層の炭層ガス資源量は10兆m³で、全国の3分の1を占めている。

<中国石炭資源網>7月17日付記事 訳 JCOAL 国際部 尹 文礼

■インドでは2012年までに国全体への電力供給を行うのは不可能となる見通し

インド政府が国家電力政策の下、進めている目標である、「2012年までの国全体への電力供給」は依然として遠い夢のままとなりそうだ。電力部門は、環境への配慮や燃料(石炭、ガス)供給体制の不足のために、2012年の3月31日に終了する11期5か年計画の初期計画での能力

(財)石炭エネルギーセンター〒108-0073 東京都港区三田3-14-10 明治安田生命三田ビル 9F

E-mail: jcoal_magazine@jcoal.or.jp 電話 03(6400)5193 Fax 03(6400)5206

78,577 MW のうち、残り約半分の追加を必死に行っている。

電力省は、計画委員会による 5 力年計画の中期見直しによって目標値が 62,000 MW に下げられてもなお、50,000 MW まで引き上げることにさえ四苦八苦している状態である。今までのところ、追加された発電容量は 34,462 MW となっている。

現状の実績を調査するための高官協議において、電力、石炭、環境部門のパフォーマンスを見直すことが Manmohan Singh 首相に期待されている。その協議においては、石炭の供給不足や環境破壊のために足止めを食らった電力計画についての問題点が話し合われる予定だ。

「我々が 5 年かけて増やした発電容量を、中国は 1 年で行った。電力部門にとっての主な懸念材料は燃料供給体制と環境省の中止になった鉱業政策である」と、ある電源会社の会長は語る。Jairam Ramesh 環境相は森林伐採に繋がるような最近の電力開発プロジェクトの見直しを認めておらず、結果的に電力省の要求を却下している。今年度、電力部門に期待される発電容量は 7,675 MW で、それに対する計画委員会の定めた目標値は 17,601 MW である。新規に運転開始した発電プラントでさえ、石炭不足により発電容量の半分で稼働している。

「我々は政府が示した石炭量が全て手に入るという前提の上で計画を立てている。政府が約束を守ることで、我々のプラントが石炭不足で稼働出来ない或いは能力以下で稼働しなければならないといった事態が起こらないことを望んでいる。」とある電力企業の社長は語る。

電力省は石炭省に 2011-2012 間で新設発電ユニットが休止しないための必要量として、3 億 4,700 万トンの石炭を確保するよう要求している。

P Uma Shankar 電力省次官は 6 月 17 日に石炭省の C Balakrishnan 次官に宛てた書簡の中で、「Coal India に石炭の供給に全力を尽くすよう要請してほしい。我々は、Coal India が e-auction や e-auction 価格での契約による石炭販売より、優先的に発電部門に対して 3 億 4,700 万トンの石炭を供給してくれることを期待している。」と述べている。しかしながら、石炭省は e-auction による石炭の購入と、80%以上値段を上乗せした 4,500 万トンの石炭販売を継続する姿勢を崩していない。電力省は 2012-17 間の計画で、追加発電容量の目標値を 100,000 MW としている。

The TIMES of India 2011.7.6 訳 情報センター 岡部 修平

■シンガレニ社のストライキがアンドラプラデシュ州の電力供給に深刻な影響

7 月 18 日、インドのアンドラプラデシュ (AP) 州は全域停電の危機に瀕している。火力発電所は深刻な石炭不足により困窮しており、水力発電は雨不足のため未だに回復しない。更に悪いことに、シンガレニ社の労働者らが 8 月 1 日からストライキを敢行する予定だ。このシンガレニ社は AP 州の発電用石炭の 60%を生産している。

ビジャヤワダに位置する NTPS 発電所 (Dr. Narla Tata Rao Thermal Power Station) は一日の利用には十分とは言え、貯炭量は約 4 万 5 千トンという驚異的に少ない状態で運転している。他の幾つかの発電所では、貯炭量が急速に減少しており、AP 州がもし早急な代替策を講じる事が出来なければ、発電所の稼働を停止せざるを得ない可能性がある。この危機的状況をふまえ AP 州政府のエネルギー部門は、石炭省に対し十分な石炭を確保するよう要請した。

この要請によると、「サンバルプル市の MCL 社 (Mahanadi Coalfields Limited) から十分な石

炭を得るのは現状では非常に難しい。従来石炭運搬列車による購入量は 1 日当り 6.20 本の契約に対し、今月の石炭の平均運搬量は 3.85 本だった。1 日に 2.15 本分不足している」としており、AP 州政府エネルギー部門の Suthirtha Bhattacharya 氏は「我々はこの状況を打開するため、1 日 5.50 本分の石炭を追加するよう石炭省に要請した。さらなる追加石炭供給を要請するため、他州との連携も考えている」とも述べた。AP 州送電公社(APtransco)が必要に応じて電力の購入を許可されている一方で、発電所に対しては、シンガレニ社の労働者がストライキを継続する場合に備えて、非常対策計画を準備することが求められている。

シンガレニ社は単独で 1 日当り 16 万 8 千トンの石炭を採掘しており、発電量に換算すると 210.5MWh、そのうち AP 州への供給分では現在 85MWh の発電量となる。しかし AP 州における水力発電量はモンスーンの到来が遅れているためわずか 7MWh にとどまっている。このように状況はますます悪化しており、広域停電の恐れは AP 州全体にまで及んでいる。

Published on Deccan Chronicle (<http://www.deccanchronicle.com>)

訳 JCOAL 事業化推進部 中野 達仁

■インド初の IGCC プラントは 2013 年 9 月稼働予定

インド初の IGCC プラントは 2008 年 7 月、アンドラ・プラデシュ州発電公社 (APGENCO) 及びバラート重電機 (BHEL) の JV 事業として同州 Vijayawada 市郊外にある Dr. Narla Tata Rao 火力発電所 (Dr.NTTPS) の 8 番目のユニットとして建設されると発表された。当初発表では運転開始が 2011 年 8 月とのことであったが未だ建設されておらず、その後の計画の経緯を追ってみた。

当初発表によると、この IGCC プラントは世界初の高灰分炭を用いる IGCC プラントとして容量 125MW 規模で計画されていた。また建設資金は総コスト 95 億 Rs、内 APGENCO 社が 53 億 Rs、BHEL 社が 42 億 Rs を出資するとされていた。

現在 APGENCO 社 Website で確認できる情報によると、容量が 182MW に変更され、総コスト 223 億 Rs、内 APGENCO 社が 137.7 億 Rs、BHEL 社が 85.3 億 Rs である。APGENCO 社は現在、AP 州政府に対して資金援助を申し込んでおりその承認待ちの状態とのこと。また当初計画では APGENCO 社はインド石炭省 (MOC) に対して、本 IGCC プラントを含め発電所の年間石炭使用量 830 万トンの追加を申し込んでいる。昨年 5 月にはインド電力省から同石炭省へ同発電所に対する石炭供給の要請がされている。

本 IGCC プラントの設計仕様書はインド環境森林省 (MOEF) でも承認済みで、そのレポートは AP 州公害管理庁 (APPOB) にも送られている。2010 年 6 月には地元の要請により住民説明会も開かれた模様だが、その内容は残念ながら公開されていない。

改訂された計画では運転開始は 2013 年 9 月とされている。

情報源 : Press Trust of India, July 1, 2008

APGENCO 社ウェブサイト : www.apgenco.gov.in/ より抜粋編集

JCOAL 情報センター 村上 一幸

■英国 ScottishPower Consortium Project

英国 ScottishPower 社、National Grid 社、Shell 社はコンソーシアムを組んで、Longannet 発電所から CO₂ を回収して陸上輸送及び海上輸送を経て、北海の枯渇ガス田に貯留するプロジェクトについて、2009 年に政府の承認を得て、現在基本設計(Front End Engineering Design, FEED) を実施中である。

本プロジェクトは英国初の商業的規模の CCS プロジェクトとして、2014 年の操業開始に向けて準備を進めており、英国が気候変動対応において新技術で主導的役割を果たすための主要プロジェクトと位置付けられている。今回 ScottishPower 社とコンソーシアムを組む National Grid 社は英国のガスパイプラインを所有・操業し、高圧ガスパイプライン技術に長年の経験を有する。一方 Shell 社は世界有数の石油・ガス生産・探査会社であり、既に ScottishPower 社ではいくつかのプロジェクトを共同実施している。



2304MW Longannet 発電所



The ScottishPower Carbon Capture and Storage Consortium Project

基本設計によると、上図に示す通り、Longannet 石炭火力発電所より排出される CO₂ を、陸上は地中パイプラインにより Aberdeen 北東の St. Fergus まで送り、そこから海底パイプラインを

通して 100km 沖合の北海中に貯留する予定である。現在 Longannet 発電所では時間当たり 1000m³ を処理できるアミン系 CO₂ 分離回収試験プラントにて種々の条件にてテストを実施中で、本テストは実スケールプラントの設計に反映される予定である。

GCCSI ロッテルダムミーティングにおけるプレゼン資料、及び
Scottish Power 社ウェブサイト (www.scottishpower.com/) より抜粋編集

JCOAL 情報センター 原田 道昭

■ 中国石炭 MTO/MTP 事情及びポリエチレン/ポリプロピレン需要の見通し

すでに JCOAL メールマガジンに昨年から実証稼働し始まっている中国 3 大石炭 MTO/MTP 事業を紹介したが、今年の 5 月末に新規の石炭 MTO プロジェクトの建設が新疆の伊犁地区で始まった。中煤集団が約 211 億元を投資し、石炭ガス化からポリエチレン/ポリプロピレンをそれぞれ 30 万トン/年生産するプロジェクトである。

石炭からポリエチレン/ポリプロピレンを製造する計画は他社にも数件がある。これは中国のポリエチレン/ポリプロピレン需要は生産能力を上回っていることを反映している。北米地域の一人当たりポリエチレン/ポリプロピレン消費量の約 37kg/17kg に対して中国の一人当たり消費量はわずか 5kg/4.5kg である。従って、経済成長に伴って、ポリエチレン/ポリプロピレンに対する需要はさらに増加し、2015 年にそれぞれ 2456 万トンと 1955 万トンに達することと予測されている。

2010 年に中国におけるポリエチレン/ポリプロピレンの生産能力はそれぞれ約 1038 万トン/年/1025 万トン/年である。市場需要の増加を満たすため、石炭原料を含むその生産能力の拡大は今後も続くと予測される。

参考：煤炭工程、2011 年第 6 期、他
JCOAL 技術開発部 林 石英

JCOAL からお知らせ

<2011 クリーン・コール・デー石炭利用国際会議第 20 回記念大会>

プログラムは多少の変更の可能性があります。JCOAL ホームページにてご確認下さい。

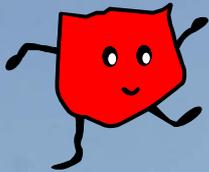
<http://www.jcoal.or.jp/>

(財)石炭エネルギーセンター 〒108-0073 東京都港区三田 3-14-10 明治安田生命三田ビル 9F
E-mail: jcoal_magazine@jcoal.or.jp 電話 03(6400)5193 Fax 03(6400)5206

2011 クリーン・コール・デー石炭利用国際会議 第20回記念大会

～クリーンコール技術が持続的経済成長と低炭素社会構築への道を切り開く～

クリーンコールフロンティアを目指して



コール君



スミちゃん



提供：新日本製鐵(株)君津製鐵所 君津第4高炉

2011年9月6日(火)・7日(水) ANA インターコンチネンタルホテル東京

9月8日(木)

サイトツアー (新日本製鐵(株)君津製鐵所、出光興産(株)石炭・環境研究所、出光バルクターミナル(株))

ご案内

わが国はエネルギー資源に乏しいため、そのほとんどを海外に依存しており、各種のエネルギーをバランス良く使用していません。石炭もその一翼を担っており、一次エネルギーに占める割合は約20%、発電に占める割合は約25%です。

石炭は、供給安定性と経済性の面から、わが国のみならず多くの国々において重要なエネルギー源として使われていますが、カロリー当たりのCO₂排出量が多いことから、地球温暖化問題に与える影響が懸念されています。とりわけ経済発展の著しい中国、インドをはじめとするアジアの国々においては、今後ますます石炭の需要が増加することが予測されており、わが国としては、石炭の需給や地球温暖化問題の解決に向けて取り組んでいくことが求められています。

本国際会議は本年第20回目を迎えることとなり、普段より増して高い視野をお持ちの各方面の方々に、産炭国との関係強化による新規炭鉱の開発や権益の確保等、石炭の上流に係るテーマを始め、クリーンコール技術(CCT)、低品位炭利用技術及びCarbon Capture and Storage(CCS)等の開発とその世界的な導入・展開等、石炭の下流に係るテーマについて講演をお願いしており、クリーンコールによるエネルギーの安定供給と低炭素社会の実現、すなわち、クリーンコールフロンティアの実現への道を探ることができるのではないかと考えております。

また、第20回大会を記念して、ユネスコ世界記憶遺産に登録された山本作兵衛氏の「炭坑記録画」を展示致します。皆様奮ってご参加頂きますようお願い申し上げます。

主催：クリーン・コール・デー実行委員会

一般社団法人 日本鉄鋼連盟
社団法人 セメント協会
日本製紙連合会
電源開発株式会社
財団法人 石炭エネルギーセンター (事務局)

協賛団体 (13 団体)

一般社団法人日本化学工業協会
社団法人日本鉄鋼協会
一般社団法人 資源・素材学会
一般財団法人エンジニアリング協会
日本エネルギー環境教育学会
日本ソーダ工業会
日本化学繊維協会
釧路市
一般社団法人日本エネルギー学会
公益社団法人 化学工学会
公益社団法人日本化学会
社団法人火力原子力発電技術協会
財団法人日本生産性本部エネルギー環境教育情報センター

後援：経済産業省 宇部市 在日大使館 (19カ国) (アメリカ、インド、インドネシア、オーストラリア、カナダ、韓国、スロヴェニア、タイ、チェコ、中国、フィリピン、ベトナム、ポーランド、ボツワナ、南アフリカ、モザンビーク、モンゴル、マレーシア、ロシア通商代表部) (予定)

クリーン・コール・デー実行委員会事務局
財団法人 石炭エネルギーセンター
参事・アジア太平洋コールフローセンター事務長 松田 俊郎
Tel: 03-6400-5193 Fax: 03-6400-5207
Email: ccd2011@jcoal.or.jp



2011クリーン・コール・デー石炭利用国際会議

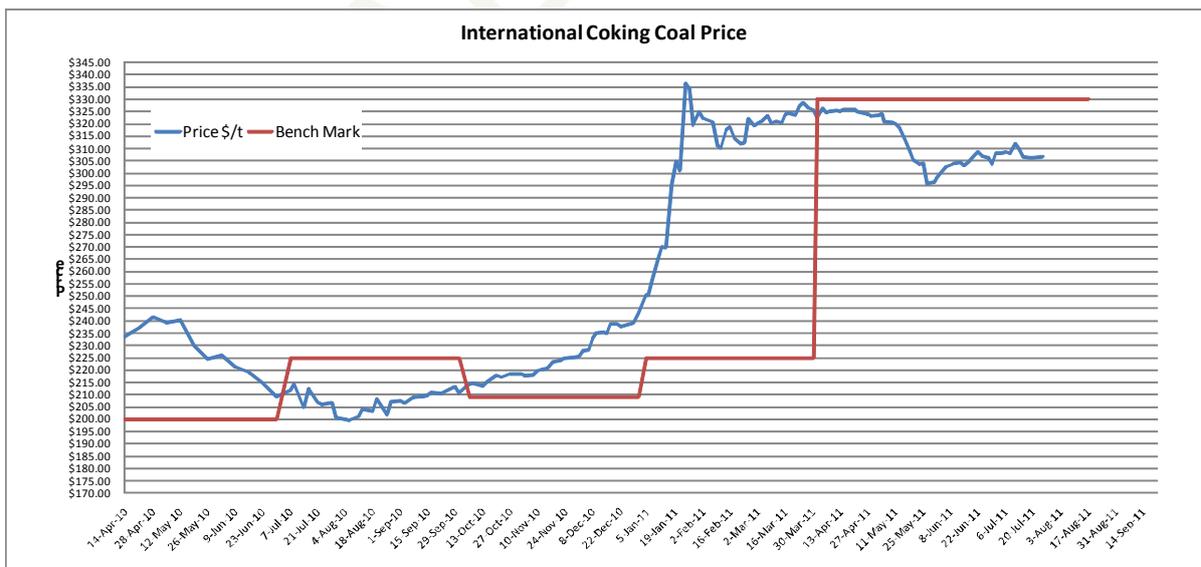
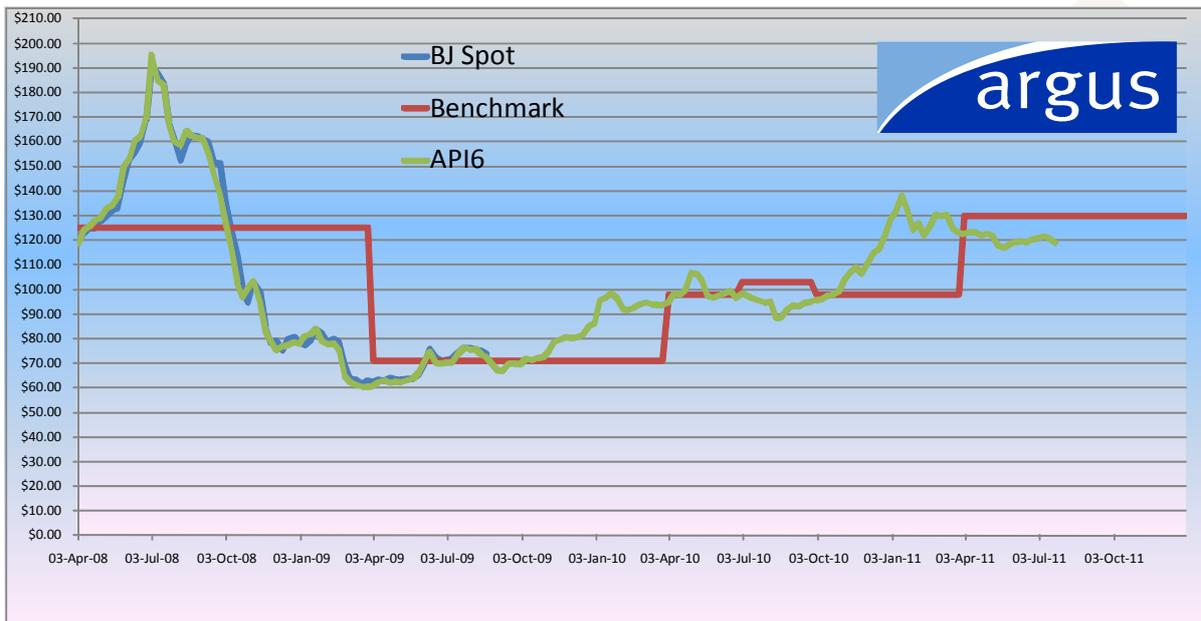
第20回記念大会

クリーンコールフロンティアを目指して
 ～クリーンコール技術が持続的経済成長と低炭素社会構築への道を切り開く～
 プログラム(案)

| 9月6日(火) | | 9月7日(水) | |
|-------------|--|--|--|
| 09:00-09:30 | 参加登録 | 08:30-09:00 | 参加登録 |
| 09:30-11:20 | 開会セッション | 09:00-09:20 | 基調講演-C(日本) 橋川 武郎 氏 「日本の石炭火力技術の国際展開とCO2削減」(仮題) 国立大学法人一橋大学 大学院商学研究科教授 経済学博士 |
| 09:30-09:40 | 開会挨拶 中垣 喜彦 財団法人石炭エネルギーセンター(JCOAL) 会長 | 09:20-09:40 | 基調講演-D(日本) 岡崎 健 氏 「わが国のクリーンコール技術の開発と地球環境保全」(仮題) 国立大学法人東京工業大学 理工学研究科工学系長・工学部長 環境エネルギー機構長 |
| 09:40-09:50 | 来賓挨拶-I 細野 哲弘 氏 経済産業省 資源エネルギー庁 長官 | 09:40-11:20 | セッションⅢ 石炭の高効率利用(IGCC、CCS等) セッション議長 国立大学法人東京工業大学 理工学研究科工学系長・工学部長 環境エネルギー機構長 岡崎 健 氏 |
| 09:50-10:00 | 来賓挨拶-II 調整中 | 10:00-10:20 | 講演-1(米国) Dr. Charles E. Taylor 「米国におけるCCT及びCCS技術開発の現状」(仮題) 米国エネルギー省 化石燃料庁 国立エネルギー技術研究所(NETL) 調査開発室化学表面科学部門長 |
| 10:00-10:20 | 来賓挨拶-Ⅲ 方 君実 氏 中国 国家能源局煤炭司 司長 | 10:20-10:40 | 講演-2(ポーランド) Mr. Henryk Jacek Jezierski 「ポーランドの石炭エネルギーの現状とCO2削減策」(仮題) ポーランド 環境省 次官 Chief National Geologist |
| 10:20-10:40 | 基調講演-I Mr. Bo Diczfalusy 「今後の世界のエネルギー潮流」(仮題) IEA エネルギー政策技術局長 | 10:40-11:00 | 講演-3(カナダ) Dr. Frank Mourits 「カナダにおけるCCS実証プロジェクトとCO2削減対策」(仮題) カナダ天然資源総局 上級科学技術アドバイザー |
| 10:40-11:00 | 基調講演-II Mr. Fred Palmer 「石炭:世界の未来の燃料」 World Coal Association (WCA) 会長 | 11:00-11:20 | 講演-4(日本) 芦谷 茂 氏 「クールジェンプロジェクト計画について」(仮題) 大崎クールジェン株式会社 代表取締役社長 |
| 11:00-11:20 | 基調講演-Ⅲ The Hon Martin Ferguson AM, MP (調整中) 「豪州石炭Black Coal/Brown Coalの新たな挑戦」(仮題) 豪州連邦 資源・エネルギー・観光省 大臣 | 11:20-12:50 | 昼 食 |
| 11:20-13:00 | 昼 食 | 12:50-14:30 | セッションⅣ 低品位炭有効利用 セッション議長 国立大学法人九州大学 特命教授 持田 勲 氏 |
| 13:00-13:20 | 基調講演-A(日本) 安藤 久佳 氏 「我が国のエネルギーと石炭の果たす役割」(仮題) 経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部長 | 13:10-13:30 | 講演-1(豪州) The Hon Michael O'Brien MP 「豪州VIC州における低ミッション褐炭利用」 豪州VIC州政府 エネルギー・資源担当大臣 |
| 13:20-15:00 | セッションⅠ 安定供給Ⅰ～主要産消国の協力強化～ セッション議長 アジア・太平洋エネルギーフォーラム 代表幹事 末次 克彦 氏 | 13:30-13:50 | 講演-2(インドネシア) Mr. Bob Kamandanu 「インドネシアの褐炭利用技術とその商業化」(仮題) インドネシア石炭協会 会長 |
| 13:40-14:00 | 講演-1(豪州) The Hon Andrew Fraser MP (調整中) 「石炭資源開発と石炭輸出インフラ増強」(仮題) 豪州QLD州政府 開発貿易大臣(財務担当) | 13:50-14:10 | 講演-3(日本) 東 義 氏 「豪州VIC州褐炭の利用技術とその商業化」(仮題) 新日鉄エンジニアリング株式会社 常任顧問 |
| 14:00-14:20 | 講演-2(インドネシア) Dr. Ir. Thamrin Sihite, M.E. 「インドネシアにおける石炭開発と輸出の今後の動向」(仮題) インドネシア エネルギー・鉱物資源省 鉱物・石炭総局長 | 14:10-14:30 | 講演-4(日本) 眞部 晶平 氏 「UBCの商業化への展開」 株式会社神戸製鋼所 常務執行役員 新鉄源本部本部長 石炭エネルギー本部本部長 |
| 14:20-14:40 | 講演-3(日本) 山下 隆 氏 「中国電力の石炭戦略」 中国電力株式会社 取締役会長 | 14:30-14:50 | 休 憩 |
| 14:40-15:00 | 講演-4(日本) 衣川 潤 氏 「石炭開発投資と今後の展開」 三菱商事株式会社 常務執行役員 金属グループCEO | 14:50-15:10 | 基調講演-E(豪州) Mr. John Hartwell 「世界のCCS実証プロジェクトの動向とGCCSIの役割」 Global CCS Institute (GCCSI) 顧問 |
| 15:00-15:20 | 休 憩 | 15:10-17:00 | パネル・ディスカッション クリーンコールフロンティアを目指して モデレーター 橋川 武郎 氏 国立大学法人一橋大学 大学院商学研究科教授 経済学博士 |
| 15:20-15:40 | 基調講演-B(ベトナム) Mr. Le Minh Chuan 「VINACOMINの石炭エネルギー戦略」(仮題) VINACOMIN 総裁 | パネリスト1 Ms. Margaret Sewell 豪州連邦 資源・エネルギー・観光省 クリーンエネルギー部長 | |
| 15:40-17:40 | セッションⅡ 安定供給Ⅱ～新規供給国の拡大 セッション議長 アジア・太平洋エネルギーフォーラム 代表幹事 末次 克彦 氏 | パネリスト2 華 煒 氏 中国陝西煤業化工集団有限責任公司 董事長 | |
| 16:00-16:20 | 講演-1(モンゴル) Mr. Khurelbaatar (調整中) 「タバントルゴイの石炭開発について」(仮題) モンゴル鉱物資源エネルギー省 事務次官 | パネリスト3 橋口 昌道 氏 経済産業省資源エネルギー庁資源・燃料部石炭課 課長 | |
| 16:20-16:40 | 講演-2(ロシア) Mr. Konstanin Alekseev 「シベリア石炭資源とその開発」(仮題) ロシア エネルギー省 石炭ピート産業局 局長 | パネリスト4 坂梨 義彦 氏 電源開発株式会社 取締役副社長 | |
| 16:40-17:00 | 講演-3(モザンビーク) Dr. Abdul Razak (調整中) 「モザンビークの石炭資源開発とその輸出」(仮題) モザンビーク 天然資源省 副大臣 | パネリスト5 Dr. Jeffrey N. Phillips 米国 Electric Power Research Institute(EPRI) 先進的の石炭火力発電技術部 調査役 | |
| 17:00-17:20 | 講演-4(日本) 藤原 真一 氏 「変化する石炭市場への新日鉄の対応」 新日本製鉄株式会社 執行役員 | 17:00 | 閉会挨拶 並木 徹 (財)石炭エネルギーセンター理事長・クリーン・コール・デー実行委員長 |
| 17:20-17:40 | 講演-5(日本) 降旗 亨 氏 「わが国への石炭安定供給確保について」 住友商事株式会社 常務執行役員 資源・化学品事業部門長補佐 資源第二本部長 | | |
| 17:40 | 第一日閉会 | | |
| 18:00 | 意見交換会 | | |
| 9月8日(木) | | | |
| 8:30 | ANAインターコンチネンタルホテル東京 出発 | | |
| 9:30 | 新日本製鉄株式会社 君津製鉄所見学 | | |
| 14:00 | 出光バルクターミナル株式会社、出光興産株式会社石炭・環境研究所見学 | | |
| 18:00 | ANAインターコンチネンタルホテル東京 帰着・解散 | | |

※プログラムは、多少の変更の可能性があります。また、プログラムは適宜最新情報を掲載しております。
 JCOALホームページにてご確認下さい。http://www.jcoal.or.jp

【API INDEX】



【石炭関連国際会議情報】

Bowen Basin coal and energy conference

Mackay, Qld., Australia, 08/08/2011 - 09/08/2011

Email: info@informa.com.au

Internet: www.informa.com.au/about/contact

Junior coal mining venture VI conference

Johannesburg, South Africa, 11/08/2011 - 11/08/2011

Email: robbie@rca.co.za

Internet: www.delitech.biz/fff/JCMV_VI_1st_Announcement.pdf

Coal-Gen conference and exhibition

Columbus, OH, USA, 17/08/2011 - 19/08/2011

Email: kayb@pennwell.com

Internet: www.coal-gen.com/index/conference.html

7th annual Coaltrans Australia

Brisbane, Qld., Australia, 22/08/2011 - 23/08/2011

Internet: www.coaltrans.com/EventDetails/0/4023/7th-Annual-Coaltrans-Australia.html

2011 CO2 capture technology meeting

Pittsburgh, PA, USA, 22/08/2011 - 26/08/2011

Email: Jose.Figueroa@netl.doe.gov

Internet: www.netl.doe.gov/events/11conferences/co2capture

Conference on coal market strategies

Colorado Springs, CO, USA, 22/08/2011 - 24/08/2011

Email: info@americancoalcouncil.org

Internet: www.americancoalcouncil.org/cde.cfm?event=33634

Conference on financing & investing in coal

Singapore, Singapore, 05/09/2011 - 06/09/2011

Internet: www.coaltrans.com/EventDetails/0/4181/Financing-Investing-in-Coal.html

China coal import and export forum & Asia-Pacific coal summit 2011

Beijing, China, 06/09/2011 - 07/09/2011

Email: susie.hansford@mccloskeycoal.com

Internet: www.mccloskeycoal.com/conferences

2011 Pittsburgh coal conference

Pittsburgh, PA, USA, 12/09/2011 - 15/09/2011

Email: ipcc@pitt.edu

Internet: www.egr2.pitt.edu/pcc/contact.html

2nd international oxyfuel combustion conference

Yeppoon, Qld., Australia, 12/09/2011 - 16/09/2011

Email: mail@ieaghg.org

Internet: www.ieaghg.org/index.php?/20100518210/2nd-oxyfuel-combustion-conference.html

9th China international coking technology and coke market congress

Jinan, China, 14/09/2011 - 16/09/2011

Email: iu@mc-ccpit.com

Internet: www.coke-china.com

KZN coal Indaba V

South Africa, 15/09/2011 - 17/09/2011

Email: robbie@rca.co.za

Internet: www.rca.co.za

34th conference on annual coal marketing days

Pittsburgh, PA, USA, 19/09/2011 - 20/09/2011

Email: stacey_knox@platts.com

Internet: www.platts.com/ConferenceDetail/2011/pc126/index

International conference on carbon reduction technologies: CaRe_Tech 2011

Polish Jurassic High, Poland, 19/09/2011 - 22/09/2011

Email: CaRe_Tech@polsl.pl

Internet: www.itc.polsl.pl/CaRe_Tech

2nd Coaltrans Colombia

Bogota, Colombia, 20/09/2011 - 21/09/2011

Internet: www.coaltrans.com/EventDetails/0/4171/2nd-Coaltrans-Colombia.html

VGB congress 'POWER PLANTS 2011' with technical exhibition

Berne, Switzerland, 21/09/2011 - 23/09/2011

Email: marthe.molz@vgb.org

Internet: www.vgb.org/en/hv_2011.html

3rd NSW coal and energy conference

Newcastle, NSW, Australia, 22/09/2011 - 23/09/2011

Email: info@informa.com.au

Internet: www.informa.com.au/conferences/mining/operations/nsw-coal-energy-conference

Canadian conference on coal 2011

Vancouver, BC, Canada, 24/09/2011 - 27/09/2011

Email: info@coal.ca

Internet: www.coal.ca

Indian coal markets conference 2011

New Delhi, India, 27/09/2011 - 28/09/2011

Email: letoya.baptista@mccloskeycoal.com

Internet: www.mccloskeycoal.com/conferences

Conference on coal trading & risk management

Singapore, Singapore, 27/09/2011 - 29/09/2011

Internet: www.coaltrans.com/EventDetails/0/4044/Coal-Trading-Risk-Management.html

Power Gen Asia conference & exhibition

Kuala Lumpur, Malaysia, 27/09/2011 - 29/09/2011

Email: emilyp@pennwell.com

Internet: www.powergenasia.com/index.html

10th international conference and exhibition on emissions monitoring: CEM 2011

Prague, Czech Republic, 05/10/2011 - 07/10/2011

Email: lesley@cem.uk.com

Internet: www.cem.uk.com

2011 gasification technologies conference

San Francisco, CA, USA, 09/10/2011 - 12/10/2011

Email: info@gasification.org

Internet : http://www.gasification.org/page_1.asp?a=96&b=4

International conference on coal science & technology

Oviedo, Spain, 09/10/2011 - 13/10/2011

Email: infoICCST@incar.csic.es

Internet: www.iccst.info/live/index.php?ie=U

7th session of the Ad Hoc Group of Experts on coal mine methane

Geneva, Switzerland, 12/10/2011 - 13/10/2011

Email: info.ece@unece.org

Internet: www.unece.org

31st Coaltrans world coal conference Madrid

Madrid, Spain, 16/10/2011 - 18/10/2011

Internet: www.coaltrans.com/EventDetails/0/4022/31st-Coaltrans-World-Coal-Conference-Madrid.html

2011 U.S. coal mine methane conference

Park City, UT, USA, 18/10/2011 - 20/10/2011

Email: somers.jayne@epa.gov

Internet: www.epa.gov/cmop/conf/cmm_conference_oct11.html

Longwall 2011

Hunter Valley, NSW, Australia, 24/10/2011 - 25/10/2011

Email: tina.larssen@informa.com.au

Internet: www.informa.com.au

International conference on carbon management, mercury, trace substances, SOx, NOx, and particulate matter: Air Quality VIII

Arlington, VA, USA, 24/10/2011 - 27/10/2011

Email: lfoerster@undeerc.org

Internet: www.undeerc.org/AQ8

China coal and mining Expo 2011

Beijing, China, 28/10/2011 - 31/10/2011

Email: info@together-expo.com

Internet: www.chinaminingcoal.com

16th coal-science & technology Indaba

Johannesburg, South Africa, 10/11/2011 - 11/11/2011

Email: robbie@rca.co.za

Internet: www.rca.co.za

US coal imports & exports conference 2011

St. Petersburg, FL, USA, 14/11/2011 - 15/11/2011

Email: letoya.baptista@mccloskeycoal.com

Internet: www.mccloskeycoal.com/conferences

8th session of the Ad Hoc Group of Experts on cleaner electricity production from coal and other fossil fuels

Geneva, Switzerland, 16/11/2011 - 18/11/2011

Email: info.ece@unece.org

Internet: www.unece.org

Galilee Basin coal and energy conference

Brisbane, Qld., Australia, 22/11/2011 - 23/11/2011

Email: info@informa.com.au

Internet: www.informa.com.au/conferences/mining/metals-minerals/galilee-basin-coal-energy-conference

Colatrans Mozambique

Maputo, Mozambique, 22/11/2011 - 23/11/2011

Internet: www.coaltrans.com/EventDetails/0/4246/Coaltrans-Mozambique.html

Asia Pacific coal outlook conference 2011

Bali, Indonesia, 30/11/2011 - 01/12/2011

Email: susie.hansford@mccloskeycoal.com

Internet: www.mccloskeycoal.com/conferences

Coal trading conference

New York, NY, USA, 05/12/2011 - 06/12/2011

Email: info@americancoalcouncil.org

Internet: www.americancoalcouncil.org/cde.cfm?event=336342

Russian coal markets conference 2011

Moscow, Russia, 06/12/2011 - 07/12/2011

Email: letoya.baptista@mccloskeycoal.com

Internet: www.mccloskeycoal.com/conferences

World clean coal series: China focus 2011

Beijing, China, 06/12/2011 - 09/12/2011
Email: lynnz@szwgroup.com
Internet: www.szwgroup.com/cleancoal/2011

South African coal exports conference 2012

Cape Town, South Africa, 31/01/2012 - 02/02/2012
Email: susie.hansford@mccloskeycoal.com
Internet: www.mccloskeycoal.com/conferences

Coal UK conference and dinner 2012

London, UK, 07/02/2012 - 07/02/2012
Email: susie.hansford@mccloskeycoal.com
Internet: www.mccloskeycoal.com/conferences

Coal-Gen Europe

Warsaw, Poland, 14/02/2012 - 16/02/2012
Email: fharisah@pennwell.com
Internet: www.coal-gen-europe.com/?Language=Engl

Coal conference of the Americas 2012

Cartagena, Colombia, 14/03/2012 - 15/03/2012
Email: susie.hansford@mccloskeycoal.com
Internet: www.mccloskeycoal.com/conferences

Coal operators' conference (COAL2012)

Wollongong, NSW, Australia, 16/02/2012 - 17/02/2012
Email: petervrahas@eventico.com.au
Internet: www.coalconference.net.au

Coal conference of the Americas 2012

Cartagena, Colombia, 14/03/2012 - 15/03/2012
Email: susie.hansford@mccloskeycoal.com
Internet: www.mccloskeycoal.com/conferences

※編集者から※

メールマガジン第 80 号の発行と今後の予定について

国内では子供たちが夏休みに入り、企業でも節電対策の夏季計画休暇がちらほら聞こえてきます。一方海外では、事件・事故のニュースが相次いでおります。我々もナデシコ JAPAN のビッグニュースで高揚した気分で今夏を乗り切りたいものです。

本号では、2011CCD 国際会議、インド、豪州、中国情報等を掲載しております。石炭のみならずエネルギー全体を取り巻く環境が変化しているなかで、情報の受発信の重要性が増しています。今後も石炭を中心に上下流両方面から情報収集していきたいと思っております。

JCOAL では、石炭関連の最新情報を受発信していくこととしておりますが、情報内容をより充実させるため、皆様からのご意見、ご要望及び情報提供をお待ちしております。

次の JCOAL マガジン(81 号)は、2011 年 8 月下旬の発行を予定しております。

(編集子)

本号に掲載した記事内容は執筆者の個人見解に基づき編集したものであり JCOAL の組織見解を示すものではありません。

また、掲載した情報の正確性の確認と採否については皆様の責任と判断でお願いします。情報利用により不利益を被る事態が生じたとしても JCOAL ではその責任を負いません。

お問い合わせ並びに情報提供・プレスリリースは jcoal_magazine@jcoal.or.jp お願いします。

登録名、宛先変更や配信停止の場合も、jcoal_magazine@jcoal.or.jp 宛ご連絡いただきますようお願いいたします。

JCOAL メールマガジンのバックナンバーは、JCOAL ホームページにてご覧頂けます。

<http://www.jcoal.or.jp/publication/jcoalmagazine/jcoalmagazine.html>